

## 重要業績評価指標について

2020 年まで下記の目標を達成することを目指す。

項目	考え方	実績値(H26)	目標値	
I 時代を先取りした研究開発の推進による新たな「知」の創出	■プロジェクト研究課題数 (件/年間)	5 件/年間 (H25:2 件、H24:1 件)	5 件/年間	
	■外部公募型研究予算の獲得数 (件/年間)	国、国立研究開発法人、民間等から資金を獲得し行う研究	38 件/年間	45 件/年間
II 科学技術の未来(あした)を担う人材の輩出	■科学教室等の参加者数 (人/年間)	サイエンスナビ、バイオサミット、科学の祭典、公設試験研究機関の科学教室等、県が主体となって進める科学を周知する取組み	11,584 人/年間	13,000 人/年間
	■科学の甲子園参加者数 (人/年間)	「科学の甲子園ジュニア(中学生)」「科学の甲子園(高校生)」各々の山形県予選大会への出場者	120 人/年間	180 人/年間
	■技術者養成研修会の参加者数 (人/年間)	県の機関が主体となって取り組む民間技術者向け研修会	3,084 人/年間	4,000 人/年間
III 知的財産の活用による本県産業の「強み」の発揮	■県有特許出願件数 (件/年間)	県単独又は県が企業等と共同で出願する研究技術に係る特許	3 件/年間	5 件/年間
	■県有特許実施料収入 (千円/年間)	県が保有する特許から得られる実施料収入	1,036 千円/年間	1,500 千円/年間
IV 新たな「知」の活用による活力ある豊かな県民生活の実現	■技術移転により製品化・商品化に結びついた件数 (件/年間)	工業技術センターの研究成果、技術が企業の製品開発に活かされた件数 県産農林水産物を活用した新商品開発の取り組み件数	56 件/年間	80 件/年間
	■普及に供する農林水産新技術・新品種数 (件/H28~H32)	公設試験研究機関が開発した農林水産に関する技術や品種で、普及に移すことができる件数	14 件/年間	75 件/5 年間 (2016~2020)